

# 円蔵自治会だより

百い百葉  
みんなWA (輪・話・和)  
になるなかよし円蔵

母口の  
あいさつ運動  
展開中

平成29年  
7月1日  
(第64号)

発行責任者  
円蔵自治会小室正明  
TEL・FAX 82-9095

## 6月定例組長会議報告 (主なもの)

1. 円蔵自治会運動会反省
2. 円蔵敬老祝品
3. 防犯灯新設要望 (2箇所)
4. 鶴嶺東地区市民集會要望事項



## 7月の予定 (主なもの)

2日(日) 7月組長会議	10:00
2日(日) 盆踊り実行委員会	14:00
12日(水) 7月事務局会議①	9:00
27日(木) 7月事務局会議②	9:00
27日(木) 円蔵サロン(33)	9:00

## 【第33回円蔵サロン】のご案内

1. 期日 平成29年7月27日(木)
2. 時間 午前9時から12時まで
3. 場所 円蔵自治会館(1・2階)
4. 対象 老若男女(どなたでも)

- ①事前申込は不要です。直接、来館ください。
- ②お茶等は準備します。参加費1人100円。
- ③お菓子・その他お好みは、各自でご用意を。

## 「子育てサロン」コーナー新設!

2階の広間で行っています。お気軽にどうぞ。

## 「敬老祝品お届けに関する調査」にご協力を

\*例年、円蔵自治会では9月に、敬老の皆様(75才以上が対象)へ敬老祝品をお祝と感謝をメッセージに添えてお届けしております。  
\*昨年度の対象者は504名でありました。  
ただ今、回覧で調査中です。ご協力ください。

## 鶴嶺東地区市民集會要望事項 (円蔵自治会)

\*8月6日(日)・午後1時30分から鶴嶺東コミセンで、「鶴嶺東地区市民集會」が開催されます。参加は自由です。(申込不要)  
\*今回、円蔵自治会としての要望事項は、次のとおりです。

1. 円蔵地区内道路改修について
  - (1) 狹隘道路拡幅について
    - ・2箇所の進捗状況(上町2組内)
  - (2) 道路隔切りについて
    - ・1箇所の進捗状況(上町1組内)
2. 防災訓練に伴う市の取り組みについて
  - (1) 情報受伝達の具体的報告様式について
  - (2) 安否確認の単位自治会訓練について



## 平成29年度・円蔵自治会助成金対象団体紹介

団体名	活動内容	会長・役員	電話
祭囃子保存会	伝統ある円蔵祭囃子の継承と育成	手老大輔	86-3710
睦会	会員相互親睦・地域交流行事協力	小川善博	85-8446
婦人会	会員相互親睦・地域交流行事協力	矢野けい子	51-3010
老盛會	健康増進・地域交流・奉仕活動等	下江崎治	86-2191
すみれ会	地域コミュニティへの参加・協力	宮本眞子	57-7556
子ども会	円蔵小地区異学年交流・奉仕活動	山崎ちひろ	51-5116
交通指導員	交通安全街頭指導・地域行事協力	武木孝	57-3503

\*会員募集中!! いずれも、会長・代表者へご連絡ください。  
\*団体相互・自治会員相互の連携・協力が大切です。よろしく・・・。

## 遊行を、とことん楽しもう (諏訪中央病院名誉院長・鎌田 實さん)

\*ある冊子のスペシャルインタビュー記事に、次のような記載がありました。たいへん感銘する内容でしたので、ご紹介します。

『遊行を、とことん楽しもう』  
\*遊行とは、古代インドに伝わる、人生の4つの区分の最後の時期のことです。  
\*学生期・家住期・林住期を経て、到達する遊行期は、死ぬための準備をする時期と言われる人もいます。  
\*しかし私は、しがらみから離れて自由になり、背負うものがなく、失敗を恐れずに、やり残したことに励む時期だと考えます。  
\*月りの空気を読む必要もなく、自分自身が一番正しいと思うことを語り、行動する時です。  
\*自由な発想で、自由に行動することは、人生を積み重ねた皆さんの、生きがいの集大成です。  
\*自分の責任で、自由に生きる。健康で長生きするための、一番の秘薬です。(いかがですか?!)



## 防災格言 (いのちを守る百の戒め) 防災アドバイザー・山村武彦先生

(39) 安全・安心は準備に比例する

(40) 寝床の安心、手袋・靴下・セーフティハット

(41) 三角連絡法や安否確認は、事前に決めてメモを持って

(39) 全ての防災対策は、事前対策である。「思い立ったが吉日」で、思いついた時に、やってしまうことである。地震はいつ襲うかわからないからである。

(40) 災害時の負傷部位順は、脚・手頭である。特に、手足の負傷は、二次災害防止活動・避難生活に支障をきたす。枕もとに、手袋・厚手の靴下・衝撃防止材入りのセーフティハットをおくべき。安全・安心は、先ず道具の備えが必要。

(41) 各種電話が不通の時は、離れた地域の親戚・知人宅を予め決め、そこを中継基地とする「三角連絡法」がある。その確認方法を各人がメモ所持すべき。家族と連絡が取れば、それだけで落ち着いて、冷静になれるものである。